

令和元年度 国語科授業の略案 (2学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
6月13日(木) 4校時	だいじなことをおとさずに、 話したり聞いたりしよう	ともこさんは どこかな
本時のねらい(2/3時間目) ○人物を探す手がかりとなる大事な事柄が分かり、落とさず聞いたり話したりすることができる。		
評価規準 話・聞 人物を探すために必要なことを落とさずに、話したり聞いたりしている。(発言・ノート)		
学習過程	学習活動(○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 11:30	○前の授業のふり返りをペアで話し合ひましょう。 ・CDを聞いてともこさんを探しました。 ・服の色などを聞き抜かると大変だと思いました。	・前時の学習のふり返りをする。
【展開】 課題把握 11:31	1 課題を把握する。 迷子のお知らせを考へて伝え合ひ、探し合ひをすることを伝える。 まい子のお知らせを、大じなことがぬからないように伝えるにはどうすればいいか、話しあおう。	キーワード 男女、年れい、色、形、かざり、ふく、もちもの
見通し ・シラバス ・言語わざ	○前の時間を思い出しましう。「大じなこと」はどんなことでしたか。 ・男の子か女の子か ・何歳ぐらいか ・服の色 ・もちもの ○遊園地で迷子のお知らせをするとき、どんな話し方でお知らせすればいいでしょうか。 ・声の大きさ、速さに気をつける ・大事なところは強く読む 一人(8分)・ペア(7分)・全体(15分)・まとめ(3分)・振り返り(5分) 「ともだちのよいところをさがしながら聞こう」	・ノートや掲示物を見返すよう促すことで、迷子を見つけるために大事なことを想起できるようにする。
自力解決 11:37	2 迷子を設定し、お知らせを考へる。 ○絵の中から一人、迷子の子を決めて、大事なことが抜からないように、迷子のお知らせを書きましよう。	・例を掲示し、児童がお知らせを書く際の見通しを立てやすくする。 ・お知らせの文章が浮かびにくい児童には、ワークシートを用いて穴埋め形式にする。 ・早く書けた児童には、お知らせを読む練習をするよう促す。
集団解決 ・ペア学習 11:45	2 迷子のお知らせを伝え合う。 ○色々なペアでお知らせを伝え合って、迷子の子を探しましよう。	・特徴を伝える場合、色だけでなく装飾品などの情報を織り交ぜるとさらに分かりやすくなることを伝える。
・全体学習 11:52	3 見つけやすいお知らせのポイントを話し合う。 ○迷子の子は見つけられましたか？ ○お知らせを伝え合って、気付いたことを発表してください。 ・○○さんは服装や持ち物を詳しく話していたから見つけやすかったです。 ・○○さんは大きな声でゆっくりと話していたから見つけやすかったです。 ○どんな伝え方をすればいいでしょうか。 ・大事なことを大きな声でゆっくりと話す。 ・服や持っているものを詳しく話す。	・「手を振っている」「走っている」などの動きは、遊園地の場では見つけるためのポイントに相応しくないことにも言及する。
・考察		話・聞 人物を探すために必要なことを落とさずに、話したり聞いたりしている。(発言・ノート・)
まとめ 12:07	だいじなことをぬからないようにつたえるためには、ふくやもちものを、くわしくはっきりと話すことが大切です。	
【終末】 ふりかえり 12:10	4 本時の振り返りをする。 ・○○さんのお知らせが、詳しくて上手でした。 ・私は服のことばかり言っていたけど、○○さんは鞆のことも言っていたので良いとおもいました。 ・詳しく説明するだけじゃなく、声の大きさや話す速さも大事なのだとわかりました。	・言語わざ「友達の良いところをさがしながら聞く」ができたかどうかのふりかえりも行うようにする。